
Figure 1.1: Front View of Ltl-6210M

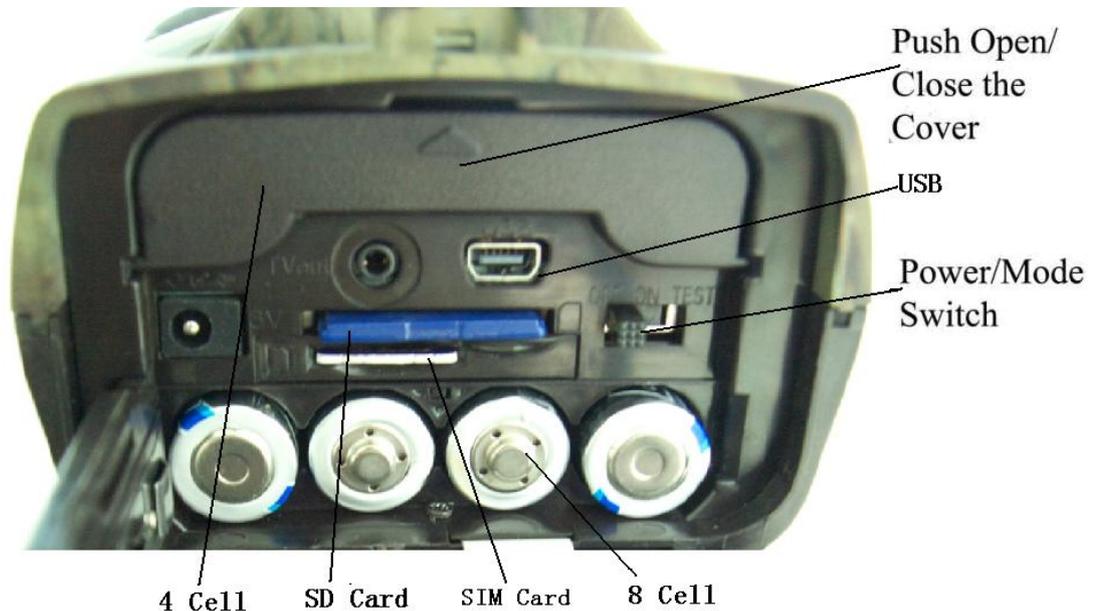


Figure 1.2: Bottom View of Ltl-6210M

The camera provides the following connections for external devices: USB 2.0 port, SD card slot, TV out jack, and external DC power in jack. The 3-way Power/Mode Switch is used to select the main operation modes: **OFF**, **ON** and **TEST**.

To power up the camera, install four **NEW** high-performance alkaline or lithium AA batteries in the camera. **FOR BETTER PERFORMANCE, WE RECOMMEND USING ENERGIZER LITHIUM AA BATTERIES.** To achieve longer in-field life, always install 12 AA batteries.



Figure 1.3: Back View of Ltl-6210M

まず、SD カードの挿入とフォーマットします。

SD (Secure Digital) メモリカードや SDHC (大容量) カードなどなしではカメラは動作しません。カードスロットに SD カードを挿入する前に、SD カードロックされないようご注意ください。サポートは 32GB までですが 16GB までおすすめします。

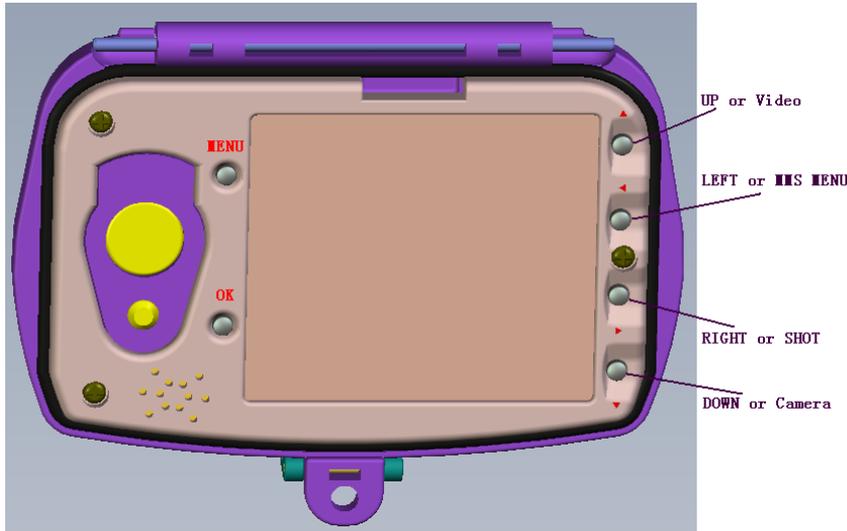


Figure 2-2

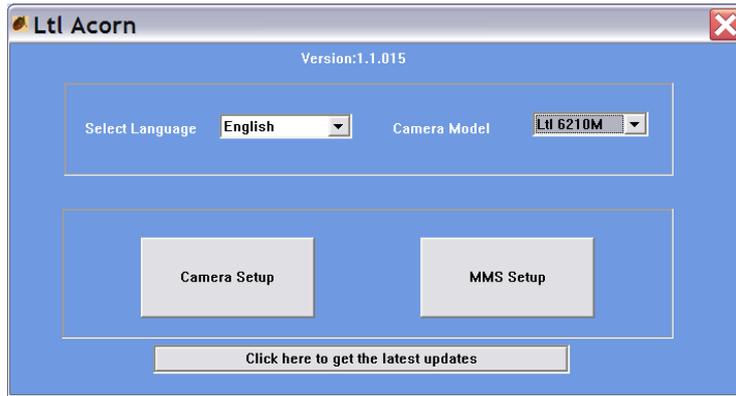
初めてご使用の場合、カメラで SD カードをフォーマットします。TEST ボタンを押してテストモードに切り替えます。(メインメニューに入り、書式設定のボタンを選択し、[OK]を押します。自動的に SD カードをフォーマットします。

●PCとの接続

フォーマットが完了したら、カメラからSDカードを取り出してコンピューターに差し込んでください。もしご使用しているコンピューターは古すぎるなら、SDカードリーダーを購入する必要があります。もちろん、それ以外にカメラのUSBポートを利用して直接PCに接続することも出来ます。

付属しているCDをCDスロットに入れて、インストーラファイルを開き、最新バージョンのウェブサイトをご覧ください。若しくは下記のホームページからダウンロードすることも出来ます。<http://www.sendspace.com/folder/7zd6ic>

操作手順



Select language 言語を選択する camera model カメラモデル

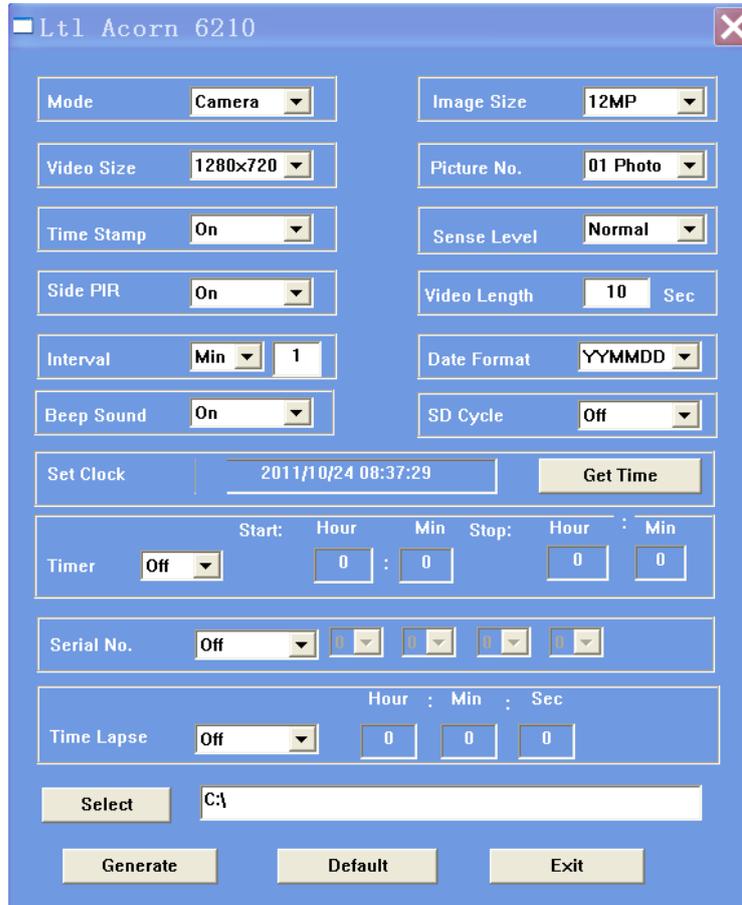
Camera setup カメラの設置 MMS Setup

Click here to get the latest upgrades アップデートを開始するにはここをクリックする

Select your language and the correct model from the drop-down list. Click on **Camera Setup**, and you will see the following menu:

在下拉列表里选择语言和正确的产品模式，单机相机安装，你将会看到以下

ドロップダウンリストから言語とモードを選択し、カメラの設定をクリックし、次のメニューが表示されます。



Time Stamp :タイムスタンプ Sense Level: センスレベル

Side PIR サイドPIR Video Length 動画の長さ Interval :インターバル

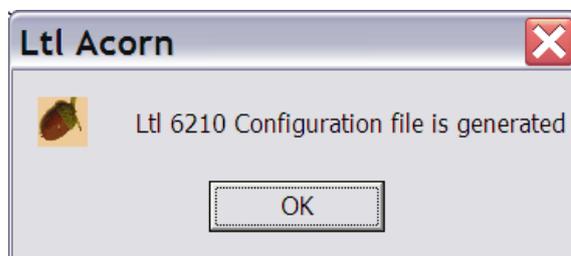
Date Format : 日付の表示

Beep Sound : ビープ音 SD cycle: SD サイクル Set clock : クロック設定 Timer: タイマー
time lapse: インターバル (触らない状態での自動機能付き装置)

Serial No : シリアルナンバー Select : 選択 Generate : 生成 Default : デフォルト Exit :
終了

3. 1パラメータの設定を参照し、[詳細設定]セクションで各設定の詳細な説明を見つけてください。GetTimeボタンをクリックし、コンピューターの時間を復元します。Selectをクリックし、SDカードが配置されているドライブを見つけます。通常はEドライブです。たとえば、SDカードが挿入されていると記載します。

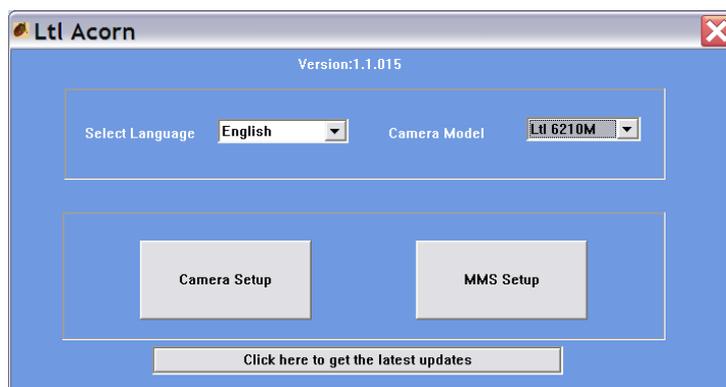
Fドライブで保存する場合はFドライブしか保存できません。Fドライブのほかのフォルダを選択しないでください。



Generateボタン をクリックし、次の窓口が出てきます。[OK]ボタンをクリックしたら、新しいファイルはSDカードに作成し、自動的に保存されます。

**** ご注意 : パスワードの設定はカメラ本体で設定してください。「PCで設定詩なしでください」。**

Exit をクリックしたら、メインメニューのページに戻ります。



テスト・モードに入り

Under the test mode, one useful function you would like is testing the work area of the PIR (Passive Infrared) sensor, specifically the sensing angle and distance.

To perform the test:

在测试模式下，一个你喜欢的功能测试，PIR 的工作范围（**被动红外**）传感器，特别是探测角度和距离。

テストモードでは、任意の機能を選択し、感知角度と距離を PIR（受動赤外線）センサーの作業領域でテストできます。テストを実行手順は下記とおりとなります。

- 1、木の上にカメラを固定し、ROI を設定します。
- 2、ROI の左側から右側にゆっくりと歩いてください。カメラから異なった距離や角度を試してみてください。
- 3、青色ランプが点滅している場合、側 PIR（赤外線センサー）が居場所を検出しました。
- 4、赤いランプが点滅する場合、アクティブセンサーPIRが居場所を検出しました。
- 5、

このテストを行うことにより、最適な配置を見つけることができます。一般的に、1~2メートルの高さでカメラを配置することをお勧めします。

温度やモバイル干渉によるエラーを回避するために、熱源（つまり太陽）や木の枝にカメラを向けないでください。

●ライブモード

ライブモードに入り、モーション検出器は手動操作の必要がなく、自動的にカメラを10秒間赤いランプで点滅します。もしオブジェクトが外側からPIRのエリアに入るなら、センサーが起動し、オブジェクトの動きを検知します。オブジェクトがメインセンサーのPIRエリアに動き続けている間、カメラは写真/動画をとります。オブジェクトは徐々に赤外領域から離れるなら、カメラは電源を切り、スタンバイモードになります。

テストモードに入るために TEST の位置に切り替えます。このモードでは、通常のデジタルカメラのように操作し、写真やビデオを撮ることが出来ます。パラメータを設定するには、メニューで入力することができます。4つの“ショートカット”機能キー（3-1 図を参照してください）はあります。下記で説明します。

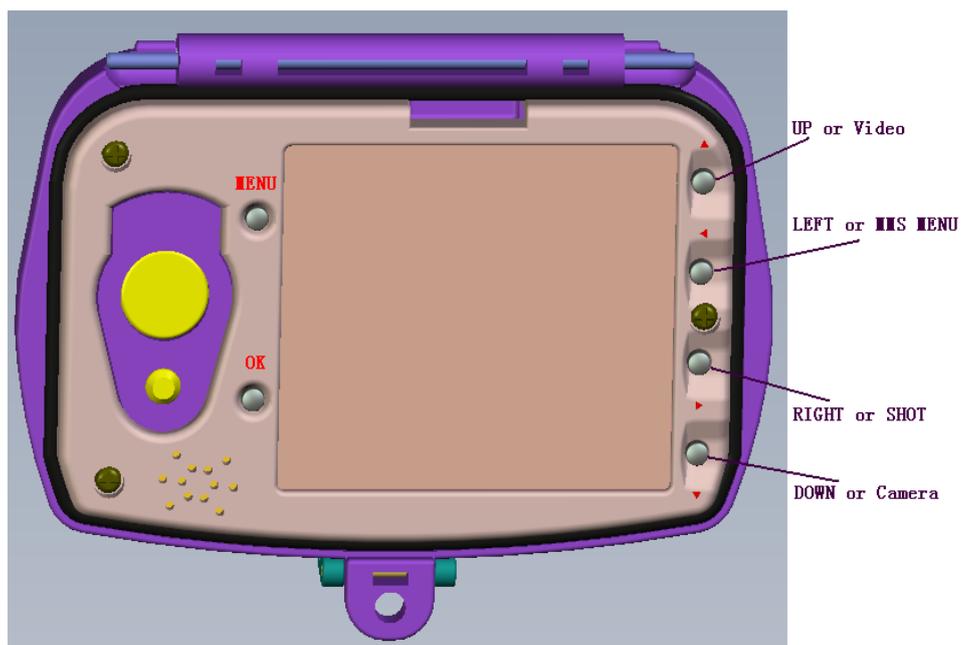


Figure 3-1

- ▲  ボタンで録画モードに入ります
- ▼  ボタンで写真を撮ります。
- 手動で ► SHOT を押して、撮った動画や写真は SD カードに保存します。カメラの画面上は“書き込み保護されている”と示すなら、OFF に切り替え、SD カードを取り外し、書き込みスイッチが OFF に設定してください。

OK REPLAY ボタンを押して、画面のプレビュー/写真の再生/ビデオを液晶画面上で見えます。若しくはテレビモニターに接続し、▲▼ボタンで写真を選択します。◀ ▶ボタンで写真の大きさを調節します。

“MENU”キーで入/切を操作します。▲▼キーでマーカーを移動し、◀ ▶キーで設定を変更します。変更したら、必ずOKボタンを押してください、「設定した内容は消えるため」。